

A stylized, light blue and white graphic of a globe, showing the outlines of continents and oceans, positioned in the upper left background.

グローバルヘルスのための インパクト投資イニシアティブ (Triple I) Impact Investment Initiative for Global Health インパクト測定・マネジメント Impact Measurement and Management



- 近年、特に低・中所得国（LMICs）において、グローバルヘルス分野（GH）の財政負担が増大。公的資金に加え、サステナブル・ファイナンスを含む、民間資金を動員することが喫緊の課題。
- 2023年**G7広島サミット**において、G7首脳はUHCの達成を含むGHのためのインパクト投資推進の**イニシアティブ（Triple I）**を承認。
- 同年の国連総会の機会、**2023年9月21日にグローバルヘルス関係のG7フォローアップ会合を開催し、岸田総理（当時）からTriple Iの立ち上げを宣言。**



目的

グローバルヘルス分野において、途上国を対象としたインパクト投資を推進することで民間資金動員を促進し、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC*）やSDGsゴールの達成に貢献する

*ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）：全ての人が適切な健康増進、予防、治療、機能回復に関するサービスを、支払い可能な費用で受けられる状態

体制

- **共同議長（3名）**：渋澤 健氏、アヨーデ・アラキジャ氏、スティーブ・デービス氏
- **想定参加パートナー**：国際開発金融機関（MDBs）、開発金融機関（DFIs）、公的開発銀行（PDBs）、ファンドマネージャー、機関投資家、民間企業、財団等
- **実施/ナレッジ・パートナー**：GSG諮問委員会／インパクト・タスクフォース、Global Impact Investing Network（GIIN）、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団
- **助言/支援パートナー**：GHやインパクト投資に関する国際機関（7 機関）
- **事務局**：日本（2023年9月～）



渋澤 健
シブサワ・アンド・カンパニー株式会社
代表取締役



アヨーデ・アラキジャ
FIND理事長



スティーブ・デービス
ゲイツ財団
シニアアドバイザー

Triple Iの活動（2025年9月まで）



2023年国連総会の機に
Triple Iを設立



国連総会サイドイベント
(24年9月)



ダボス会議
サイドイベント (25年1月)



世界保健総会
サイドイベント
(25年5月)



(23年5月)
G7広島サミットにて各国
首脳より承認



(24年1月)
ダボス会議
サイドイベント

(24年8月)
第3回運営委員会

- 世界保健サミット
- Health Tech Network Fireside Chat
- GIINインパクトフォーラム
- SOCAP24

(24年10月)

(25年2月)
第4回運営委員会

(25年8月)
TICAD9テーマ別イベント
(*UNICEF共催)

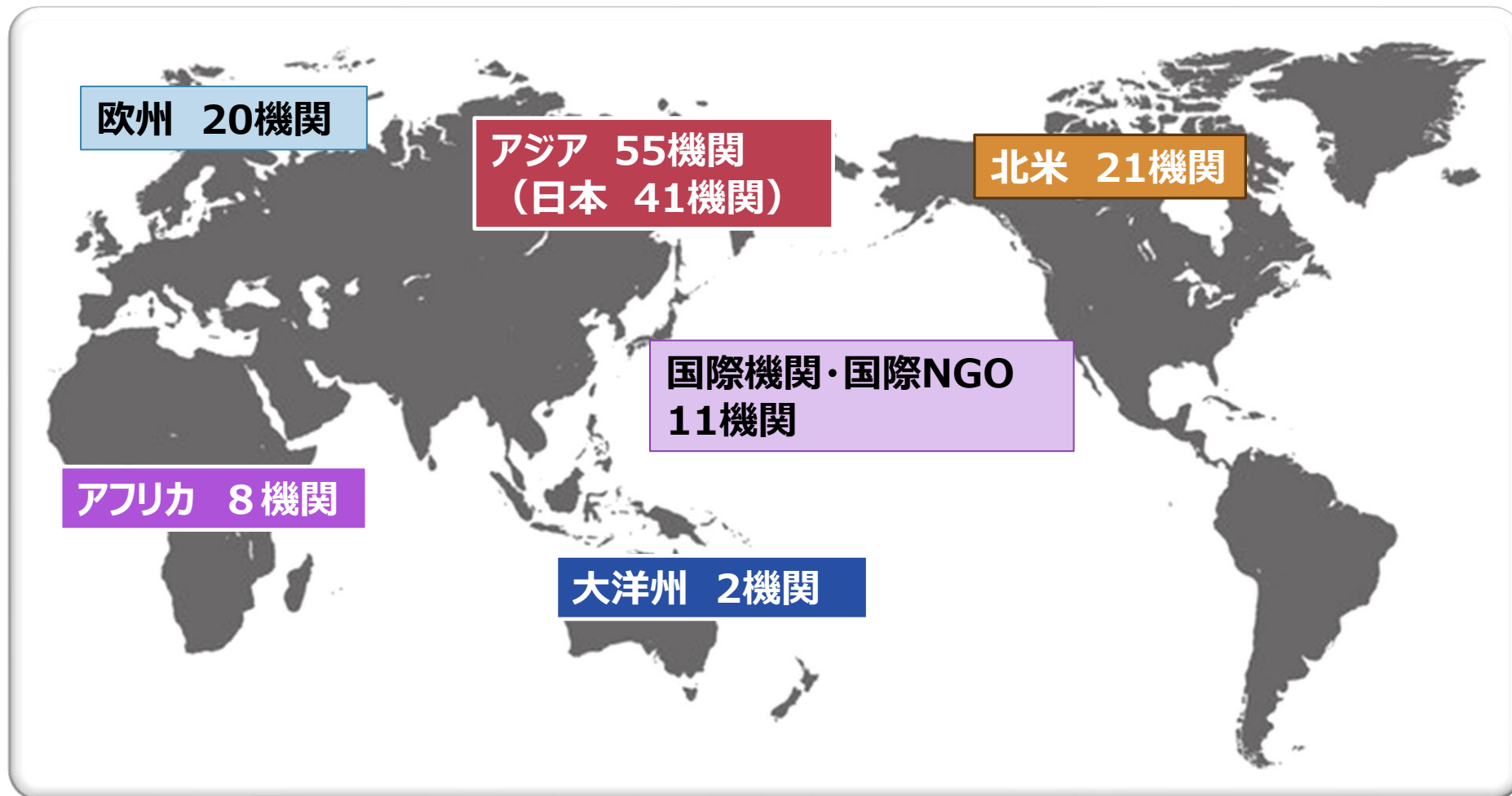
(25年9月)
国連総会サイドイベント



117 パートナー(2025年10月末現在) **37** (2023年)



20 イベントでのアウトリーチ
5 ラウンドテーブル (パートナーのための会合)
2 ワーキンググループ設立



117機関（2025年10月末現在）

第1の柱：広報および体制構築

- Triple Iの認知度向上とネットワークの拡大
- 参加機関の拡大、パートナーシップ・エコシステムの構築

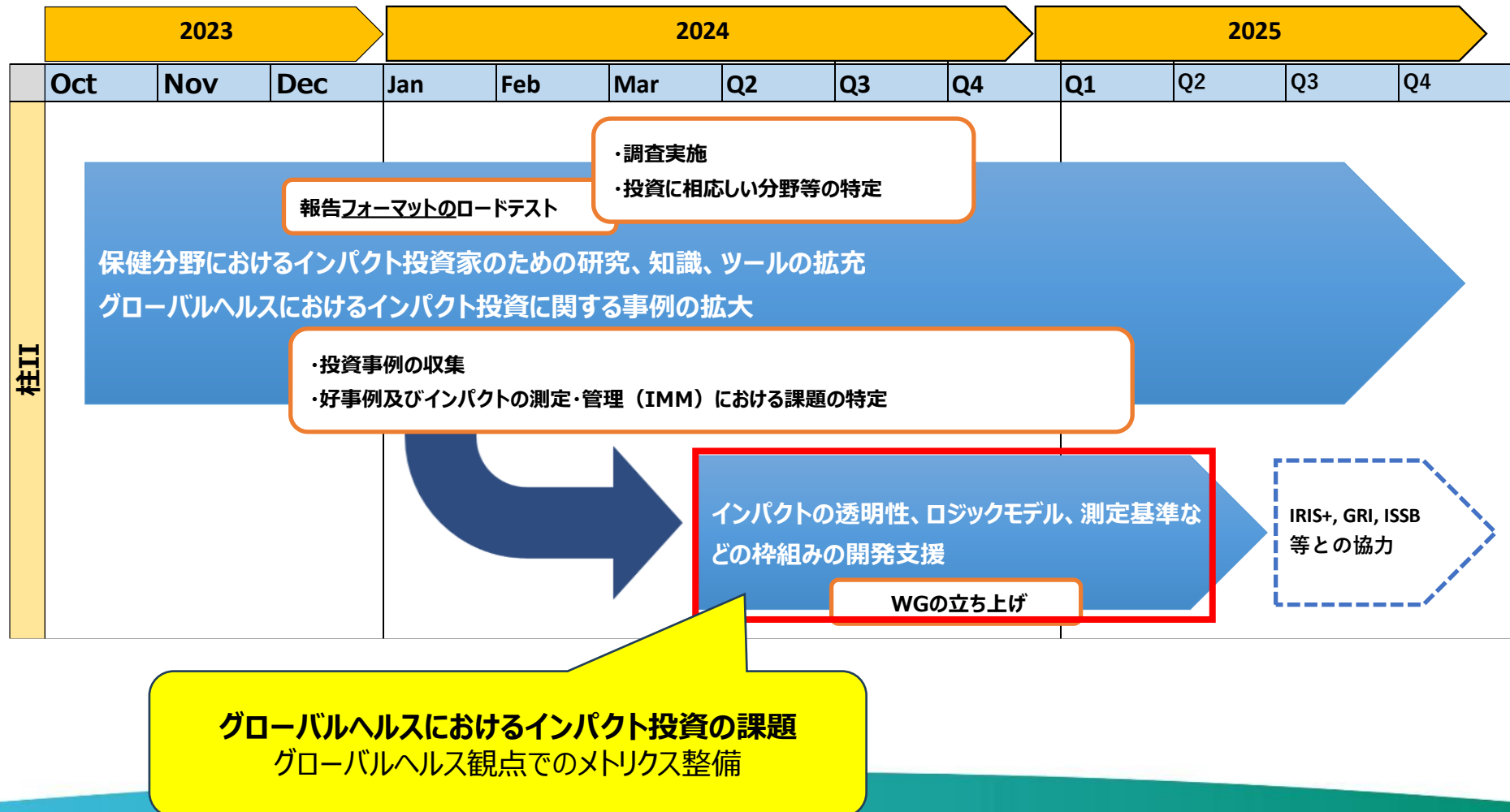
第2の柱：インパクト投資の発展支援

- 保健分野におけるインパクト投資家のための研究、知識、ツールの拡充
- グローバルヘルスにおけるインパクト投資に関する事例の拡大、データの収集

第3の柱：開発金融機関や政府等が果たし得る役割の検討・促進

- リスク・マネーに対する枠組みの構築
- 政府、開発金融機関、多国籍金融機関の触媒的な役割の特定

- ◆ 柱Ⅰ：広報及び体制構築（Triple Iの認知向上、参加機関の拡大、運営体制の構築）
- ◆ **柱Ⅱ：インパクト投資の発展支援**
- ◆ 柱Ⅲ：開発金融機関や政府等が果たし得る役割の検討・促進



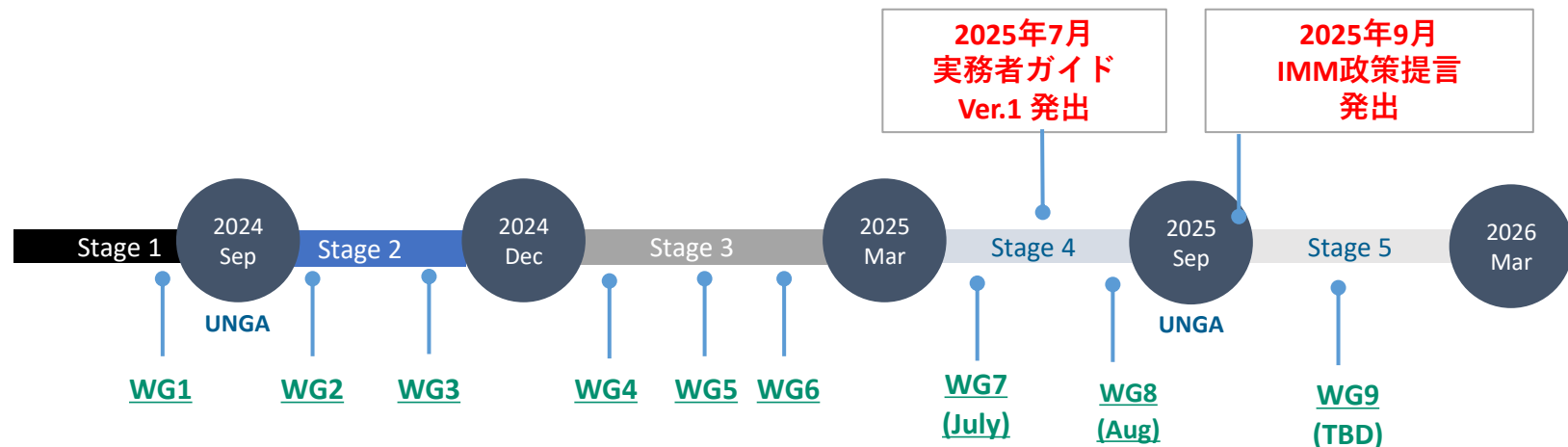


IMMの目的 :

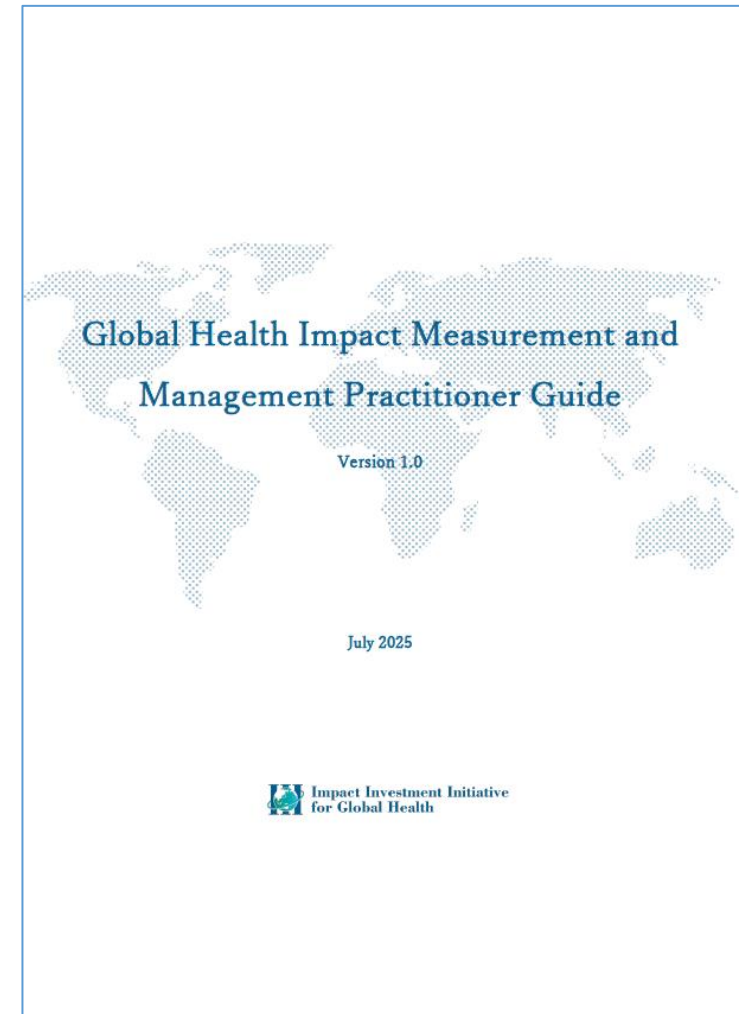
- ・投資機会の影響を測定するためより有用な指標を調和させ、発展させ、共有し続ける。
- ・データの収集・分析の共有により、投資ポートフォリオとグローバルヘルスイニシアチブの両方に貢献する。

IMMワーキンググループの立ち上げ

- 目的 : グローバルヘルス分野におけるIMMの実態把握と実践知の体系化
- 開催時期・回数 : 2024年9月から計8回開催
- 成果 :
 1. インパクト投資のための実務者ガイドの発出
 2. IMM実践・調和に向けた政策提言の発出



- グローバルヘルス分野においてインパクト投資を効果的に実施するための実践的な枠組みを提示したガイド。
- 主な概要
 1. 投資ライフサイクル全体へのインパクト志向の統合
投資戦略の策定から出口戦略に至るまでの全プロセスにインパクト目標を組み込むことが重要。
 2. 製品開発・サービス提供ライフサイクルの管理
研究開発や患者へのサービス提供に至るまでの包括的な視点の提唱、バリューチェーン全体の考慮が重要。
 3. 指標選択に関するガイダンス
アウトプット・アウトカム・インパクト指標の役割を提示。適切な指標セットと既存フレームワークとの整合性、早期のデータ収集に向けた戦略開発が重要。



- ガイド内にTriple Iパートナー機関を対象としたデータ指標分析に基づいた指標例を収録

Metric Category	Patient Reach	Facility Expansion	Workforce Development	Geographic Penetration	Social Equality Tracking	
Example Outputs	Number of Patients served	New centers by location type (rural/urban)	Healthcare workers trained by type (facility-based/ community)	Coverage of tier 2/3 cities	Women/social minority patients served	
	Consultations conducted; tests performed	Bed capacity added; equipment installed	Gender ratios in staffing	District-level presence	Women/social minority-owned businesses supported	
	Patient segmentation (low-income, vulnerable, etc.)	Quality accreditation status		LMIC coverage metrics	Female/social minority workforce metrics	
	Metric Category	Healthcare Delivery Improvement	Disease Management Effectiveness	Operational Sustainability	Policy Implementation	Social-equity
Example Outcomes	Quality of care standards	Treatment adherence rates	Cost per patient served	Healthcare policy development; Workplace policy improvements	Women's/social minorities' health service expansion	
	Healthcare access equity	Cost-effectiveness measures	Resource utilization efficiency	Regulatory compliance		
		Metric Category	Health Impact Measures		Healthcare System Transformation	Economic Impacts
Example Impacts			Disability-Adjusted Life Years (DALYs) averted		Reduction in out-of-pocket expenditure	Economic savings from reduced healthcare costs
			Lives saved/improved in LMICs		Improvement in healthcare accessibility	Healthcare cost savings at system level
				Disease progression reduction	Enhancement in quality standards	Productivity gains from health improvements

- 投資家・政府機関・NGOなど多様なステークホルダー間における既存のIMMの調和に向けて提言。
- 主な概要
 1. グローバルな保健指標の調和
 2. 資本インセンティブへのアクセス創出
 3. 官民対話・パートナーシップの構築
 4. ステークホルダー協働のためのネットワークの形成
 5. 低・中所得国におけるグローバルヘルス投資に対する金融インセンティブの開発
 6. インパクトと財務的リターンの関係性の定量化



- Triple Iは日本が主導し、2023年9月よりG7イニシアティブとして設立。
- これまでの2年間の活動を通じて、パートナー機関は設立当初の37機関から117機関に拡大。
- パートナー機関とともにIMMワーキンググループ等の活動を通じて、グローバルヘルス観点でのメトリクス整備と調和に向けた取り組みを実施。
- 今後、パートナー機関との対話を通じてIMM実践時の課題抽出や実務者ガイドの改訂等を実施し、グローバルヘルスにおけるインパクト投資のさらなる活性化を図る。



Triple I for Global Health